

大分銀行赤レンガ館リノベーション



▲空間全体の照明設計は梁間のスラブ下と梁の間で間接照明をベースとしている。化粧梁が美しく見え、空間全体が柔らかく明るくなるよう考えている。また、展示部分や壁面にはスポットライトで照明を補足している



▲コーヒースタンドは、赤レンガ館のコンセプトや「Oita Made」の設えと調和する、素材感を生かした設えとしている



▲展示什器は卓袱台（ちゃぶだい）型で足の長さを変えることで3段階のレベルを設定する事ができ、配置によって導線もコントロールできる。素材は日田杉。接客カウンターの素材も日田杉で、行灯部分は別府竹細工「煉瓦編み」



▲前回の改修から、25年を経たこの建築物では、外部の修繕も必要であった。外壁は全て既存レンガ面の清掃を実施し、装飾部分の補修を実施した。サッシは木製のものが老朽化していたため同一形状のアルミ製のものに交換し、屋根の修繕も実施された



▲RC造の柱は仕上げを撤去し、欠損部分の構造補修を適切に実施し、打ち放しの状態に露出させた



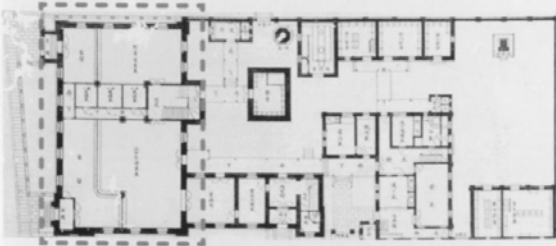
▲平成5年の改修時に作られた銀行営業時間（9時～15時）の目盛りしかない大理石の時計盤壁をそのまま残している

■ 建築概要

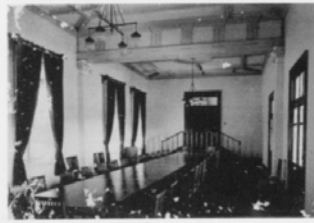
名称：大分銀行 赤レンガ館 所在地：大分県大分市 用途：クリエイティブハブ / ATM コーナー / 貸金庫 (Oita Made Shop / COFFEE STAND / FREE SPACE)
 建築主：株式会社 大分銀行 設計者：大正2年竣工時 / 辰野野岡建築事務所・辰野金吾 昭和25年及び平成5年竣工時 / 株式会社佐伯建設 平成30年竣工時 / DABURA.m 株式会社・光浦高史 施工：株式会社 佐伯建設 規模：構造 / レンガ組積造 RC造 鉄骨造 階数 / 地上3階建 敷地面積 / 1251.86 m² 建築面積 / 775.00 m² 延床面積 / 1530.29 m² 弊社改修面積 / 426.345 m²

仕上げ：(床) ビニル織物床シートヘリンボーン張り t=3.0mm ポロン SB-1037.59・SB-1037.65 (内壁) 既存漆喰仕上げを研りワイヤーブラシにて除去、極力構造レンガを現す 塗装クロス張り、AEP 塗装 柱コンクリート躯体表しの上つや消しウレタンクリア塗装 既存漆喰面をサンドペーパー掛けし、欠損部補修の上 AEP 塗装 (天井) 既存天井 (モールド部分を含む) の塗装面補修の上、AEP 塗装 塗装クロス張り、AEP 塗装 (梁) 既存部補修の上 AEP 塗装 期間：設計 2017年9月1日～2017年10月15日 施工 2017年11月20日～2018年3月5日

■大正 2 年竣工当時の 1 階平面図 (No Scale)



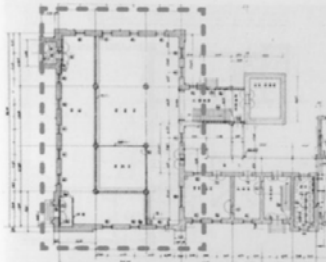
▼大正 2 年竣工当時の内観
明治 43 年に着工し 3 年後に竣工



▼昭和 20 年大分空襲で被弾
木造内部を消失、レンガ壁の構造体だけが焼け残った



■昭和 24 年改修当時の 1 階平面図 (No Scale)



▼昭和 24 年戦後復旧工事後
内部は鉄筋コンクリート造で再建された



■平成 5 年改修当時の 1 階平面図 (No Scale)



▼平成 5 年改修当時の内観
大分銀行創立 100 周年を記念して大幅に改修された



■平成 30 年改修作業中の様子

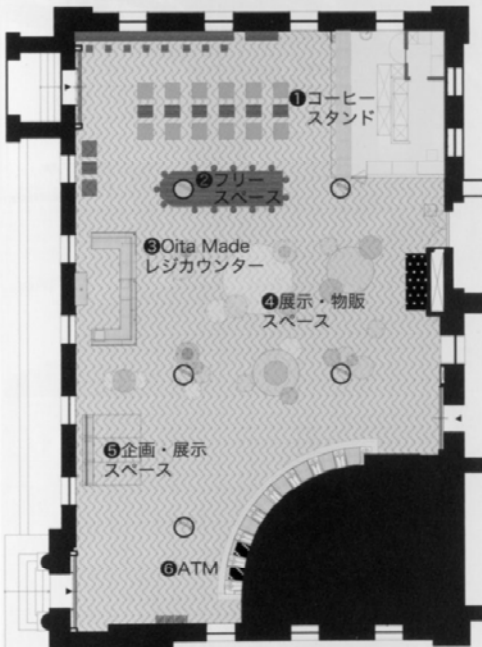


◀レンガを覆っていたボード、軽鉄、しっくいモルタルを丁寧に取り去り、本来の構造体のレンガが見えるよう露出させた。現場はまるで遺跡発掘のような光景だった

▶今回の改修で下地用に埋め込まれた木レンガが空襲の火災で炭化している部分が発見された



■平成 30 年 3 月リノベーション竣工時 (今回) のホール部分平面図 S=1/300



用途変更を伴うリノベーションを実施

- ① コーヒースタンド
コーヒーという強い特徴や香りのある飲料を中心とした販売となることを踏まえ、素材感を活かしたシンプルな構成の中にも特徴的でリズムカルな意匠を仕込んだ。
- ② フリースペース
誰もが気軽に利用できるスペース。休憩や打ち合わせなど様々な利用されている。
- ③ Oita Made レジカウンター
接客カウンターの素材も日田杉で、行灯部分は別府竹細工「煉瓦編み」を用いている。
- ④ 展示・物販スペース
日田杉を用いた卓袱台（ちゃぶだい）型展示什器は足の長さを変える事で、部分的に重ねたりしながら展示を自由に組み替えられる。
- ⑤ 企画・展示スペース
パネル作品を置いたり展覧会情報などを展示している。
- ⑥ ATM
半円形状の展示スペースはもともと全て ATM が設置してあったが、ATM は 2 台に減らして他の部分を展示空間としている。

▼リノベーション後のホール使用風景



断面図 S=1/300

